

# 令和4年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

## I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	特段、震災の影響が感じられないから。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から11年経ち、街もでき、道路もでき、公園もでき、震災前よりきれいになり、住みよくなりました。その意味で回復し、進んでいると思います。ここ数年は震災よりも、新たに新型コロナウイルスによる影響が多いです。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	工事をしている所が見られなくなっている。終了した様子。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	住環境の再建は、ほぼ成ったのではと考えます。ただ雇用の創出については、逆に少なくなっている様に感じます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の生活はほぼ回復したと思う。うちの地区は人口が減る一方なので、ゆくゆくは公営住宅がガラガラになると思う。(10年後どうなってるんだろう…。)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	自営業の方は再開している。又、その他の方々は就職している。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	現在私の住んでいる山田町中心部の長崎地内、転居復興住宅建設のラッシュが終わり、住宅建設の終焉を迎え、不景気感が漂うようになった。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活は元通りに戻った感じがします。高齢化が進み、地域内は日常静かで活気がない。今後、地域を活性化させるリーダー養成の必要を感じます。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	10年一昔と言いますが、大震災に遭遇して一昔が経ちました。内陸に避難した人の中には、そのまま安全だと思われる内陸に永住を決めた方々もあります。その様な事で中心部は人家も少なく、雑草が伸び放題です。元地に再建し住んで居る方は、夜になると寂しいと話しております。震災を乗り越えて来た人達は、震災前の暮らしには比べる事は出来ませんが、今は自分達のそれなりの暮らしを取り戻し、落ち着いた日々を安心と共に過ごしておりますとの事でした。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	被災者の話も聞く事が少なくなり、回復が順調だと感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	住宅環境は、元に戻ったと言えると思う。公営住宅の空室は、子育て支援に役立っている様です。三陸沿岸道路も全部開通となり、観光に来ていただければと思います。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	皆さん新しく再建した場所で、ようやく落ち着いた生活をしている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	身近の被災した方の生活が以前と同様になったと感じるから。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	住居が変わったりしてはいるが、生活はもとのようになっている。仕事も同様と感じている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	居住宅の再建や道路等の整備は概ね完了したと感じる。住環境についても、移転、新築、公営住宅への入居等もほぼ終了に近い状況に思われ、日常も安定していると感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	仮設住宅の撤去も完了し、生活が落ち着いたと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	自分に直接被害は大きくはなかったが、近隣の道路状況等を見て、一番に三陸道の開通による復興が大きいと感じています。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナ禍の影響が大きく、震災とは無縁のところの影響が出ていると思われる。震災に関して言えば回復してきたと思われる。前回は記したが、県内でも震災の被災の違いからか住民の感じ方が県南地方と当地方とは大きな開きがみられる。震災から11年を経過し、住民の記憶というよりも震災に対する心構えが薄らいで来ている感じがする。震災の記憶を語り伝えることの重要性はよく言われるが実際の行動としてどう伝えるかが大事だと思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	沿岸各地区にて、各種イベントが開催されるようになり、被災による生活は、回復したと感じる。コロナウイルスによる影響はあると思うが、震災とは別に考える事のように思います。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災から11年以上もたち、住宅環境は元に戻っているが、住んでいるのは高齢者が目立つ。若者は外に行き、人口は減少している。漁業、酪農、商業と景気が悪い状況が続いている。これから先、不安がますます大きくなっていくのではないかと。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	生活が回復したあとの新たな課題により、安心できる生活ができていないようにみえる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	復興内容より、店や施設、閉店や閉鎖が多く見られるようになって、通常的生活環境に見えるようになったから。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	住環境等ハード面での回復は概ね完了している。人口減少等コミュニティーを維持すべく、自治体を中心となって既存ストック住宅活用や子育て世代向けの宅地造成などの対策等次世代に向けた整備の段階に移ってきている。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	新たな環境に適応していますが、年齢に経過年数を加算した分、複雑な想いもあります。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域としては50%程度の自己再建住宅が建っており、これ以上の住宅は望めそうもありません。コロナウイルスの影響でコミュニティーも不足していると思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	一部にかさ上げの土地に空きが見られます。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅の再建もほぼ終わり、被災した人も、落ち着いたと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	野田村の復興住宅の完成している。三陸沿岸道路の完成。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	最近(6カ月)は横ばいの様に感じる。(それまでが急な回復(店・建物等)をとげた様に思っていたため。)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住居や町もだいぶ整備され、進んでいるように見えます。勤務地に向かう道中、被災地域を通りますが、公園やスーパー、以前あった商店等の再建が見られます。ただ、まだ空き地も目立ちます。身近におられる被災者の方々の生活自体はだいぶ落ち着いてきたように見えますが、見えない部分(心の面)の回復については、分からない状態です。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	住環境が整備されてきている。(ただ、それに伴い支出も多いと思うが)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	これが日常というようになっていく。家の再建、生活のしかた等、それぞれの年代にあわせて対応しているのではないかと。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲に被災した知人がいません。ですから、分かりません。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	勤務地の災害後の住宅の様子を見て、ただ、最近の変化としては、よくわからない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	街並が整いつつあるので「6か月の進捗状況」では「やや進んでいる」と回答した。だが、多くの方が亡くなったことを考えると、回復できない方も多くいると思うため、「被災者の生活の回復度」では「どちらとも言えない」と回答した。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	居住施設の再建は概ね完了している。道路、鉄道等も完了していて、被災前の生活にもどっていると感じます。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	地域のサロン活動、地域独自のイベントの定着もあり、活気が戻ってきたと感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	工事車両も以前の程度位まで戻っており、せわしなさを感じなくなった。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	住環境や雇用創出はたしかに整ってきているが、コミュニティーの再生はできていないと感じるので、引き続き、この点に支援が必要だと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	東日本大震災から10年以上経過して、地域住民の生活はほぼ回復している。一方、住宅取得のためのローンなどがあり、生活は苦しい人が多い。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後に回復した生活が、新型コロナウイルス感染症の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・今年4月、奥州市の支店より、転勤に赴任。被災者の生活の回復具合を比較対象できる程の実績がない。 ・県内陸部(沿線沿い)と被災地の経済格差は実感できる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後11年が経過し、地域の高齢化が進むと共にコロナの影響やロシアのウクライナ侵攻によりガソリンも含めものの値段が上がり被災者に限らず生活する上で大変さを感じている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	被災を理由とした話を聞く事がなくなった。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から10年たっても、空地や売地がまだまだある。市内でデパートが閉店したり、商店でも閉店する店もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害公営住宅の入居が完了し、自己再建の住宅も建ち揃い、住まいの確保は出来たように見受けられる。一方、災害公営住宅からの退去者が始めており、空室が目立ち始めたところがある。地区の人口は2,800人になり、震災前の63%まで減少し、高齢化と少子化の流れは留まることはなく、限界集落に近づきつつある。雇用の場は回復しておらず、地区の基幹産業である漁業も水揚げの不振から、難しい経営を余儀なくされ、商工業においても、人口減少と新型コロナ禍の影響により、業績が悪化し、先の見えない状況が続いている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	住む所は確保された。町の人口は、震災前から減少が続いていたが、震災後により多く減った。土木・建設の仕事は復興期が終わり、減りつつあるが、震災前よりは少し多いのでは。漁業が、サケの不漁の影響が大きいですが、震災の為ではないので、全体とすれば回復したと言える。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	ここ6カ月間で特に変化は感じられない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	復興事業者がいなくなったから。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興工事も終わり、落ち着いた生活になっているので、町中は新しい店もちょっとづつできているけど、私のまわりは何も変わってないから。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興住宅に入居したものの馴染めず、病氣・失業等に悩んでいる様子が見え始める人が増えている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	三沿道的全線開通により、ハード面の再建はほぼ完了したと思うので。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	空地はまだ目立つが、盛土した土地に戻ってこようとしている人たちは、ほぼ戻って再建していると感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	周囲の様子および自分自身の生活を考えると回復していると思う。しかし、家の再建、生活の立て直しのために目に見えない苦勞もまだまだあるのではないかと推察する。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	最近は大きな変化はみられない。が、震災前と大きく生活が変わったことは、決して回復できない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	10年以上経過して、もはや何を基準にすればいいのか判らなくなりました。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	特になし。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前の状態に戻ってきていると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	コロナの影響で店がつぶれる所が多い。ただ、新しいスーパーもできて賑わっている所もある。コミュニティーはやはり災害公営住宅では難しいと話を聞く。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災からの住環境の再建はほぼ完了したと思われる。(新築着工数が減っている為)今の生活環境は震災の影響というよりは、違う要因からきていると思うので、震災からの生活は回復したが、コロナ、エネルギー高騰、物価上昇など、その要因で生活がまた困難になってくるのではと感じる。 ※今後、質問に答える時、震災時と比較すればいいのか迷っているところです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	特に変化は感じない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	日常の生活は被災前に近いように見える。最近の6カ月は特に変わらないと思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	居住施設の再建や道路等のインフラ整備がほぼ完了しており、住環境の面では回復したものと捉えている。一方で、進捗状況という目線では、インフラ整備の完了もあり、この6カ月間での進捗はあまりないものと感じている。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	住環境の再建は図られているものと思われるが、雇用の創出についてはむしろ後退していると判断する。企業・事業主の廃業により人口減少化に歯止めがかかっていない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住環境も落ち着き、雇用等も「震災」が理由で…という声は聞かない。様々な支援により、生活(ライフラインや道路、といった部分)は安定してきていると思う。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業の悪化、もはや産業にならなくなりつつある。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナで新しいコミュニティ形成が進んでいない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	コロナ禍によって生活様式が大きく変わり、震災との比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災前と比べると、同程度までの回復は人口減少や、働き場所の喪失等もあり望めない。まして、県の内陸部のにぎわいに比べると、回復したという実感までは至らない。

## II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後の復興・復旧工事等で建設業関連は良かったですが、しかし、これらの工事も完了したこと、今後不安を感じているところがあることを考えると、回復から後退しているように思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	新しく店も出来たりして、買い物客も沢山見かける。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	再開の意識のある方々は、再開している。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・水産商工業施設の復旧復興工事が進み、外観的には復旧復興がなされた。 ・3.11東日本大震災後、地球規模の温暖化現象で、暖流系の魚種が多くなったが、漁獲量は多くない。親潮系の魚類が激減し、漁船漁業・定置網業が不振となっている。 ・浅海漁業では、磯焼けによる餌不足でウニの身入りが悪く、またアワビ採捕漁業も餌の海藻が不足で不況となっている。(磯掃除の必要性がある。)本年になり、ウニ採取業が少し復活しはじめた。 ・浅海養殖業は一応好調のようである。 ・商店街にあつては、コロナ禍で飲食業が打撃を受けているが、これに伴い他産業にも影響を及ぼしている。 ・山田中心地の国道から海岸線の買い上げ空き地が、これの有効な利活用が求められている。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	久慈市宇部町と野田村地内約80haの基盤整備事業が完成し、農地(田)の集約化が進み、関係する法人も設立された。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前の状況をふり返って見ると、沿岸地区は産業面での経済は決して良い状態だったとは言えないと思う。現在の状況は、震災前にもどって来ていると感じる。コロナウイルスによる影響は、震災と切り離して考えるべきだと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナ禍の状況が徐々に落ち着きをとりもどしてきているのに合わせるように、地域経済も少しずつ活発になりつつある。被災前とは状況が違うので比べられない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面はこのまま頭打ちな感じであり、ソフトな部分での期待しかない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	釜石でのコロナの感染者がようやく少なくなり、スーパー他への客足も多くなった気がします。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	コロナで大変！
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナになれて、ワクチンも3回目がいよいよ終わったので、人の流れが多くなったので良くなってきていると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	新しい商業施設の建設や、震災以前にあった店の再建など、回復してきているように思います。農産物等の地産地消の促進も図られているように思います。水産業に関しては、具体的にどのような状況か見えないところがあります。(津波による海底の状況→それに伴う養殖や水揚げ量の状況、水産業に従事している方々の苦労等)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災直後よりは回復してきてはいると思うが、それ以外の要因(少子高齢化等)で経済の進展が見られないように思う。最近の変化はわからない。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災前のように回復してきていると思う。現在は震災の影響より海外の影響が大きいと思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災前に比べて、商業施設は減ったと思うが、継続しようとしている方々は、再建していると思う。人口減少で利益はもとに戻っていないようだが、可能な限りで行っている様子に見える。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	回復してきていると思うが、コロナの影響が飲食店の方にあるのではと思います。回復と思うのは、商業施設への人流の活性や、三陸道の車の流れが増えていると思うからです。(コロナの影響が少なくなっているのかもしれませんが)。ただ、街中心部の人の流れは少ないと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	何らかのはっきりとした事実がある訳ではないが、被災前の頃と同じ状況ではないが、その頃に近い状況には回復していると感じている。日常の会話などからそう思うことが多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	サケ、サンマ等漁獲量の減少、漁業従事者の減少で浜に活気はなく、また、コロナ、戦争の影響もあり、いつまでも不安定な経済状況と思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災よりもコロナの影響が大きいと思います。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路関連事業の完成により物流や人的交流が活発になり地域経済にとっては良い方向に向いてきた。今後この事業の完成を地域経済の向上に向けていかに取り組むべきか、官民一体となって考えていくべき場が必要と思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	コロナに加えて気候変動による台風被害や漁獲量減少の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナ感染症対策の影響が色濃く出ており、震災によるものなのか、コロナによるものなのか、判断がつかない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・市街地中心部は整備も進み、活気が戻っていることも実感できる。 ・反面、11年を経過し、未利用の土地が点在しており、今後の整備にも利用が見込めない等、課題は山積している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・主要産業である建設業は三陸縦貫道の完工に加え、公共工事の減退、原油高等によりコスト増加を招いており収益環境厳しい。 ・依然コロナ禍の状況にあり、観光業・飲食業中心に大打撃を受けており、暫くは同様の状況が続くものと思われる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	工業製品の製造業などは好調であるが、水産業や建設業は不漁や工事量の減少などにより、不振が感じられる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	景気が悪い、物価が上がり大変だとの声を聞くし、自身も感じてきている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナが水を差した様に思います。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	サンマ、サケ、スルメなどが不漁で、水産業は苦しいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	地域の経済を前進させるため、それぞれの立場で皆さん頑張っていますが、担い手不足、新型コロナウイルスの影響で苦労しています。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災前から、平均所得は多くない町なので、回復したと言えると思う。より良くなってほしい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	エールチケットの販売があったが、商品券より売れ行きが良くないと感じた。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	当地の主力産業は漁業なので、今年はワカメの出来も悪いそうで、色々な魚種の不漁も聞き、心配です。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	サケ、アワビが記録的不漁であるため。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	水産業が低迷している。燃料、資材などは高騰している。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	私が住んでいる町は、経済もこれ以上良くなるとは思えず、せめて若い人達の雇用の場があればもっと経済も回復すると思う。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大規模に経営している農業者又は営農法人には、よりよい金融面・制度面は優遇しているようだ。家族経営農家は、あまり優遇している感じがしない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	回復してきているが、人口減(少子化・高齢化もあり)は、今後も経済に影響を及ぼすため。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	復興道路が整備されて、便利になったように見える。しかし、建設関係の需要が減り、仕事が減ったという話も聞く。あわせてコロナの影響などもあるのではないかと感じている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	震災からの完全回復を待たずに、コロナの影響を多大に受けていると思われるので。特に飲食店の影響がひどいと感じている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	ここ数年は、「震災」というよりコロナ禍の影響が大きいように感じる。ここ半年を顧みても大きく変化はなかった。感染者の減少に伴う人の交流が活発化されることで、地元の漁業を含め経済の回復が図られることを願っています。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災からの回復という意味では、回復したと思われるが、長い目で見たとき、地域経済の活性化は、本市の継続的な課題であると思われる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	回復というよりは、新しい街として構築されていく途中、という感が強い。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	問1の理由(10年以上経過して、もはや何を基準にすればいいのか判らなくなりました。)の他に、コロナ禍の影響で、逆に落ち込んでいるかもしれない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナの影響がまだあり、飲食関係に人がもどっていないと感じます。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	被災前より回復できたように思えるが、コロナやウクライナのことで、最近では悪いような気がする。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前に比べ、店舗の数は少なくなり、さびしく感じるが回復していると思う。ただ、やっと再建してもコロナ禍によりダメージを受けるのではないかと不安もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	復興度合は進んでいると思うが、コロナによる経済低迷もあり、期待している。回復にはいたっていない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・温暖化の影響か、震災の影響かはよくわからないが、漁の回遊等に変化があり、又、貝類も含め不漁であるという話をよく耳にする。漁業の不振が続くことが心配。 ・そのような中でも、養殖の研究についての話も聞く。再生を図るために手をつくしていることがわかる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	前回は書いたが、漁業や商業は厳しくなっていると感じる。三陸沿岸道路が開通し、他市町村へも短時間で移動でき便利になったが、地元が工夫を凝らさなければ買物等、大きなショッピングセンターへ流れていく方々が多くなり、地元へ金が落ちなくなる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	コロナの影響で、あまり外からのお客さんも来なくなったため、経済面は低下してるのでは?と考えている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	特に水産業ではサンマやサケの不漁、ウニがやせているなど、あまりいいニュースをきかないし、各地で同じようにトラウトサーモンの養殖をしているが、どこも同じな感じで、大丈夫かな?と思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナの影響、エネルギー高騰、物価上昇、震災需要の減少で、悪くなってきていると感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域の道路、漁港、防潮堤などの基盤整備は修了した。一方、近年のコロナやサケ等の不漁などにより、地域経済は回復していない。震災による影響からは、ほぼ回復している。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災による影響からはかなり回復したように見える。最近6カ月については変化は感じない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	営業基盤の主体となる大槌町に関しては、漁獲量の低迷、人口流出、高齢化進展等の複合要因もあり、経済規模が縮小している印象が強い。また、地域の有力企業が内陸部に活動拠点(含む本社移転)を移している点も全体的な回復が感じられない要因の一つと考えられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	人口減少に伴う成長鈍化であったところにコロナやガソリン・資材価格の高騰が追い打ちをかけている状況です。いずれ、官と民が協調して地域を維持させていく経済特区的な構想が必要であると思います。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	主力産業の「漁業」が全く回復しないのでどうしようもない。「海水」ならいっぱいあるんですけど…「金」が採れないかなあ…)
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後10年が経過したが、災害復旧・復興に関係する需要が殆ど無くなり、地域人口の大幅な減少や基幹産業である水産業の停滞が影響を及ぼすと共に、先行きの見通しがたかないコロナウイルス感染症の状況が暗い影を落とし、地域経済の回復は進んでいない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	三陸道が出来、とても便利になったと思いますが、他町へ遊びがてら買い物に行く人も多く、それに加えコロナが出回り暫く中心部も人通りがなく、店舗等早めに閉める様になり、活気にはほど遠い様です。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後の復旧は進んだが、沿岸部では主要産業である水産業が漁獲減により、苦戦している。また、観光業はコロナの影響で客足が増えていない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	コロナの影響や魚貝類の不漁で地域経済は後退している。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済は、漁業・農業等の基幹産業や観光産業の潤いがあると思っています。漁獲量の減少やコロナ禍の影響を受けて、その回復の歩みも感じられるものでなくなっている。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	温暖化の影響と震災の被害とを混同しているのかもしれませんが、洋野町では、ウニやイカやその他の以前はよく獲れていた海産物があまり獲れなくなっていると、聞いています。そこからの印象です。漁業に詳しくないので的外れの意見かもしれませんが。震災前からですが、地元商店街のシャッター街化には、さみしいものを感じます。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	被災の影響よりも感染症(コロナ)によるダメージが大きいので。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸道が開通し特需がなくなった。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	漁業の不振、住民の高齢化、漁業を離れる若者も出てきた。地域で目立つのは散歩している高齢者だけだ。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・農業―生業で営むものの、米価下落、収支赤字、後継者無し。 ・林業―杉等家屋新築の為、伐採するが植林鹿害等にて進まない。ハゲ山状態が多い。 ・漁業―イカ・サケ漁等大不振。 ・地元商店(小売)―商品価格高く、他市町村へ流出。商店街の団結力全ぜん見られない。
回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の為ではなく、コロナの影響が大きいと思う。人の流れが昼夜問わず少ない。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	水産業がさかんな本市は、震災で打撃を受けたものの、復興を少しずつとげてきた。しかし、コロナの影響で、飲食店が深刻な状況。魚貝や観光目的に訪れる人が減り、店を閉めざるをえない状態が続いている。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	コロナや円安による物価高の影響から、上記回答とした。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	新しい店ができて一方、地元の小売店、商店街に人はまばら。水産業の不漁。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	施設の閉店が多くでてくるのが不安。山田町内の陸運業事業所の閉鎖。将来的に道の駅やガソリンスタンドなど。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	問1の回答(コロナ禍によって生活様式が大きく変わり、震災との比較が難しい。)と同じく、単純に比較をすることが難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前の状況が分からない。

### Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	工事も終わっている様に見受けられますので、達成されたと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	唯一残っていた「防潮堤及び市街地と海方面を結ぶ乗越道路工事」が完了し、工事業者・関連業者も完全撤退、予定していた事業が終了したつばいので、東日本大震災絡みでの「災害に強いまちづくり整備」は達成されたと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	復興工事はほぼ終了しているが、今後のそこで新規の生業を営む人々の支援が必要。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤も完成しています。万一気仙川での水害があっても姉齒橋から気仙大橋間で遊水池と成った現在水田である土地が利用との事。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	久慈市宇部町の久喜浜地区と野田村の防潮堤が完成。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤も完全に終わり、皆さん落ち着いて生活をしている様には見えますが、津波を経験した以上、安心は出来ないでいる。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	災害に強い安全なまちづくりは、被災前に比べて雲泥の差がある。完成の日の目を見ないまま破壊された防潮堤や水門など、迅速な建設工事ができていれば、もっとたくさんの命が救われていたかと思うと、残念でならない。最大級レベルの災害まで耐えうるものではないが、住民の安心感(暮らしやすさ)はおおいに高まったと思う。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤もほぼ完成し、ようやく海岸も使用できるようになった。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	安全なまちづくりは日々進んでいると感じる。復興道路の完成によって、便利さを実感しているが、それによる人口流出、商業圏の拡大による地域経済の停滞も懸念される。また、道路の維持等の問題も出てくると思う。常に安全なまちづくり、安全に対する備え、意識を持ち続けなければならないと感じている。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・防潮堤の完成や、三陸自動車道の全線開通など、震災前より安全な町作りになっていると思います。 ・今後、東日本大震災よりも、大きな津波が来る事が予測されます。新たな津波浸水想定地域の方々への避難所、避難場所の周知が今後必要と思います。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	行政も地域住民も、まちづくり活動に積極的。必要性について人々のなかに浸透してきていると思われる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	市役所や警察署の移転完了に加えて、防潮堤整備も進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事が未完成ですが、少しずつ進んでいます。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・台風10号被災による河川工事はあと数年は要するものの着実に復旧が進んでいる。 ・自治体主導による防災マップ等の整備、避難路やルートの整備が進められているが、コミュニティ単位を主体とする防災に向けた取組もまた、重要になっていくものと思われる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤工事の一部がまだあるので、これらの工事がすべて完工したとき「達成した」と言えると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備は成った様に思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	現在住んでいる場所は高台であり、災害に強い所にいるので安心だ。他の施設もほとんど完成している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	避難道路⇒夜に避難する際の安全面で心配な部分が見られます。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・生命の安心安全の防波堤工事は、山田湾奥関川河口付近蓬莱橋水門工事が、その全容が現れ、年度内完成を目指している。 私の調査範囲外の山田町最南の田の浜地区は、復旧復興工事が一旦完了した。その後、台風で巨大山津波が発生し、新築の住居が多数被災した。改めてこれの設計変更をし、復旧復興工事が継続している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤、水門の工事を一部残していますが、復旧工事は完成間近であります。残された課題は完了された区画整理地内の街づくりをどうするかだと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤は、完成が見えてきた。住宅は震災後、安全性の高い場所に移転した。津波以外にも、予期せぬ災害は起こりうるので、ハード・ソフトともに安全なまちづくりは継続する。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	台風等の災害の道路補修が始まったこともあり、少しずつではあるが、進んでいると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	高い高い防潮堤も完了に近く、今門扉の工事中で大きな機械が動いているのが遠目に見えています。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	津波に対する整備は進んだと思います。台風の季節になると、不安になります。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤を作るために、コンクリートやその土台の砂が漁業被害をおこしているように思うがどうですか？サケなどが戻って来ないのも、それかもしれませんよ！
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	三陸道が開通し、物流の流れがとても良くなった。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤はできた。防潮堤だけ残る。一人暮らしの高齢者はどんどん孤独死している。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤が完成してから津波注意報で水門が使われ、作動と確認ができたので。新たな津波避難の計画と地域住民への周知が必要となってきたので。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	三陸道の開通など、災害に強いまちづくりが進んでいる様に感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	港湾関係の施設の完成、三陸沿岸道路の全面開通など、だいぶ整備されたと思います。津波に関しての対策は、(防災意識も含め)十分図られていると思います。但し、災害時の医療体制については、今現在の市内の病院の状況から、不安が残るところです。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	女	三陸道も完成。防潮堤等の工事も進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤を見る度に、感じます。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	勤務地等での防潮堤の完成と三陸道の開通、それ以降の変化はよくわからない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	沿岸沿いも整備され、高台に避難できるルートもできている。震災を知らない世代に語り継いでいくことも「災害に強い安全なまちづくり」につながると考える。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	「知っているなら伝えよう 知らないのなら学ぼう」…子どもたちに伝えたいことです。災害に強い安全なまち一陸前高田が全国の被害(自然災害)にあわれた方達を支えるまちになるために大人が努力していかないといけないと思います。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	40歳代	男	震災を踏まえ、防波堤などのハード面の設備、防災意識を高めるような自治体・教育現場の取組などを継続して行われていると感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	復興道路や高台移転等、ハード面の整備はほぼ完了に近づいていると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	まだ工事中の所もあるものの、確実に進んでいるとは思いますが、今さら言っても仕方ないけれども、もう少しスピーディーにできなかったのか？工事の予算も、10年過ぎれば合わなくなるのも当たり前で、鈍化に拍車をかけているのではないかな？
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	三陸道の全線開通に防波堤と完了したが、雨がふると土砂や冠水が心配で排水口等整備が必要と感じる。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤の整備はほぼ完成したのではないかと思います。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	安全なまちづくりは達成している。津波以外にも、これからの季節、大雨や台風による対策も考えなければならないと思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	防波堤の整備が着々と進んでいる。道路も整備されている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・津波に対するハード面は達成したと思う。あとは、ソフト面の強化・継続が必要かと思う。 ※時々、国道のトンネル内を通行している時、雨水(山水?)がしみ出ている壁、タイルががっつりおちている壁等を見ると、いつか崩落するのではないかと恐怖を感じる。そういったところに目を向けることも必要ではないでしょうか。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	最近になって、最大クラスの津波による被害想定が変わって来ていて、避難対策が変更となっている状況にあり、この発表前までであれば「達成した」、「進んでいる」と考えていたが、すこし後退した様に思う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	住宅の整備、道路の整備等は、ほとんど終了し、また、災害復の仕事も終了したようで、土木・建築等の仕事が少なくなったとのこと。また、海からの収入も思わしくなく、生活が大変なように感じる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	盛岡までの道をこの前通ったが、少しは短くなったが、やはり時間はかかるなと思った。岩泉～盛岡間もはじめて通ったが、かなり遠いと感じた。防潮堤は完成した所を見ると安心するなあとと思った。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤も道路も完成して安心感はあるが、その分、気持ちの中で安全について考えることが少なくなっている気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・インフラが整備され、ハード面は完成した。 ・ソフト面で、震災の風化防止につとめる活動が必要と思う。高田松原津波復興祈念公園も全て完成したので、あのフィールドをもっと有効に活用できるように取り組んでいきたい。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災地区の集団移転や防潮堤の建設は修了した。一方、当地区は台風による浸水被害が続いている。堤防内の内水の処理を含め、洪水対策が必要である。また、河口が閉塞しており、対策が必要である。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	男	川の増水に対する対策は改善されたと思われるから。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	予定された防波堤や水門などはほぼ完成しているが、今後想定される千島海溝・日本海溝の巨大地震津波のハザードマップの公開で東日本大震災津波を上回る浸水被害地域が示され、今までの災害・避難に対する考え方を大きく見直さなければならぬため。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	様々な構造物に老朽化が見られ、それらの修繕補強工事が必要になっているように見られる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	前回調査(令和4年1月)時の理由に加え、日本海溝・千島海溝を震源とする巨大津波の発生予測と浸水域の公表により、これまでのハザードマップの見直しが必要な課題であると思われる。また、津波避難のルートや方法についても大幅な見直しが必要になる。今後の対策が重要になって来るものと認識せざるを得ないのが現状で、不安な状態が続く。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤が完成した。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤がまだ完成していない。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	地元の水門がまだ完成していないが、周りはほぼ完成している。ただ、震災後植樹した防潮林の管理が少し悪くなっていると感じる。(雑木が多く、植樹したきの成長が悪い。)
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	防災マップの公表、説明会などが行われているようであるが、今後どのようにするかがあまりわからない。方針等、いつまでに何をやるなどが見えるとわかりやすい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	浸水区域に新しい建物が作られているのは、安全なまちづくりが進んだと捉えるのかどうか疑問。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	復興工事はかなり完成されている。今後は気持ちの風化をどれだけ抑えていくか、の問題になると思う。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	ハザードマップの見直しや、避難所の見直しを検討していることは、より災害に強い対応を考えていると感じる。だからこそ、現状は達成しているとはあえて思わないのだと感じている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ほとんどの工事が終わり達成されていると思う。また、定期的に避難訓練も行われているようなので、一部地域だけでなく、全体的な取り組みもあっていいと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	インフラ等の設備は進んでいる。ただ、この問題は予測を超えた災害に対する備えである。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	三陸道の開通により、避難方策は充実してきたと思います。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナ禍や先ごろ発表された津波被災の予報によって、官民が改めて震災に対する考え方が芽生えてきており良い方向だと思う。ただ、平地の少ない当地域では、既に公共の建物が津波被災地内に建築されたり計画されている。地域財政の乏しい中でこれらにどう対応すべきか考えさせられる。先の震災では被害が少なく済んだ関係からか住民の間ではすでに過去のものとなっている感じがして不安になる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	男	防潮堤(北浜周辺)遅れているように見えるのと、田ノ浜地区もかなり遅く感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	被災前に比べれば達成したと思うが、最近の最悪想定津波シュミレーションが怖いと感じ、何を基準に安全と考えて良いか分からない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	ハード面の工事は全て終わっている。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	嵩上げや港湾整備等により、災害に強いまちづくりに向けた一定の整備は完了したものと料するが、東日本大震災での想定を大きく超える津波被害を鑑みれば完全な状況とは言い難いのではないかと。また、進捗状況に関しては、問1同様、インフラ整備の完了もあり、この6カ月間での進捗はあまりないものと感じている。
あまり達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	港湾防潮堤の建設や、津波被害が想定されている学校の移転が、遅々として進んでいないため。(久慈)
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はある程度完成したが、水門工事がまだまだ先のようだ。
達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	津波被害で全壊し、津波の来ない高台へ移転新築したが、今年になって突然岩手県から、土砂災害危険区域に指定された。被災者として、二度と災害に会わないように、高台へ移転したのだが、土砂災害危険指定区域と判っていたなら、絶対に自宅を建てなかった。何も指定が無かったのが安心して建てたのに、新築後6年で新たに指定され、また移転を考えなければならない。これは二次災害と捉えるべきか。岩手県の災害に対するいい加減な対応に翻弄されている。
達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・防潮堤完成したものの、農林省(農業関連)関係分、(手すり)・(階段)・(歩道)等少なく、環境省のもの大きく差があり、災害時不安ある。 ・想定外規模の災害時、避難所が近くにない。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	水門工事の遅れ、新しい津波への周知や対策が不十分と思います。避難訓練の実施など、努めておられると思います。私たちの災害に対する意識が薄れないようにすることが大切だと思います。
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	地域の様々な主体をまきこまないソフト面の整備が行われている。形だけや一部だけで行われていて、地域をまきこめていない。地域を知る主体と協力できていない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	問1、問2と同様(コロナ禍によって生活様式が大きく変わり、震災との比較が難しい。)の回答です。

## 令和4年第2回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和4年8月30日  
岩手県 復興防災部 復興推進課

〒020-8570  
岩手県盛岡市内丸10-1  
電話 019-629-6935

### 【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。  
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)